

国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター形成に関する基本的な考え方（案）

平成26年5月

国立循環器病研究センター





1. 基本理念

- (1) 地域に密着しつつ、ナショナルセンターとしてのミッションである「循環器病の予防と制圧」の拠点を目指す。
- (2) オープンイノベーションにより、最先端医療・医療技術の開発で世界をリードする。
- (3) オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）を形成する。

2. 特に留意すべき事項



- (1) 本事業を**国家プロジェクト**として位置づけ、中央省庁、経済界、アカデミア等からの幅広い支援が得られるものにする。他方、**地元の住民・医療関係者・商工事業者等**からの理解と積極的な協力・参画が得られるようにする。
- (2) 本事業を効率的・計画的に推進するために、**国循、地元自治体、UR等における役割分担を明確化**し、工程管理を行う。
- (3) **循環器疾患分野に関する機能集積を目指す本地域と、他の関西地域**（うめきた再開発地区等、京都市内地区、神戸医療産業都市等）**との役割・機能分担**を明確にしつつ、関西圏全体の医療産業集積の底上げ・ネットワーク強化を図る。

3. 基本的な考え方



理念1 地域に密着しつつ、ナショナルセンターとしてのミッションである「循環器病の予防と制圧」の拠点を目指す。

健康寿命の延伸を目指した予防医療
(健康増進を含む。以下同じ) への取り組み

- 地域医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、栄養士等）、行政、企業と連携した先駆的な循環器病予防モデル事業の実施
- 要介護に至る最大要因である脳血管疾患や心疾患等の重症化や再発を予防するためのモデル事業の実施。
- 患者データの集積・分析と予防医療による医療費削減効果の検証
- 効果的な予防医療の確立と医療関係者・研究者・市民への教育・啓発



最先端医療・医療技術の開発と普及への取り組み

- 世界に先駆けて医療技術の臨床開発を実施し、**日本発の革新的な医薬品・医療機器**を創出
- 循環器領域における高度先駆的な診断・治療法を開発し、**標準化（ガイドライン・治療指針の作成・改訂）**
- レジデントや専門修練医、若手研究者等の養成（**教育・人材育成**）
- 全国の循環器病症例の登録・データベース化（**H26年4月に設置した「循環器病統合情報センターの拡充**）
- 地域医療機関や行政と協力して、循環器領域における**救急医療のIT化モデル**や**在宅医療移行システム**の開発・整備



バイオバンクやコホート研究、疾患登録等による膨大な医療情報を集積・解析し、「予防と治療」のその先にある「先制医療」を実現する。

- 近隣住民・医療関係者・自治体等と協力しつつ、**世界水準に匹敵する吹田コホート研究の拡充を目指す。**
- バイオバンクやコホート研究、疾患登録等による膨大な**医療情報（ビッグデータ）**の集積・分析と、適切なデータ利用の促進
- 病気進行の指標となる**バイオマーカー**（遺伝子、タンパク質等）の開発
- 未病又は早期段階の診断・予測、治療的介入（**先制医療**）の確立



理念2 オープンイノベーションにより、
最先端医療・医療技術の開発で世界をリードする。

最先端医療・医療技術の開発のための産学官の連携
によるオープンイノベーションを展開する。

- 創薬・医療機器開発を支援するため、臨床現場のニーズと先端的研究のシーズのマッチングや事業化支援（マーケティング、薬事相談、知財管理等）等を専門家が行う「先端医療創出センター（仮称）」の設置
- 上記専門家の育成やFDA、PMDA等との人事交流
- “一つの屋根の下”に、様々な大学・研究機関や製薬・医療機器メーカー等の研究者・技術者が集まる共同研究拠点の集積
- 様々な大学・研究機関との包括連携協定の締結拡大や民間企業との共同研究プロジェクトの拡大



優秀な研究者・技術者の受け入れと 国循ブランドの海外展開

- 国内外の研究者・技術者の受け入れを大幅拡大
- **トレーニングセンター**を活用した国内外の医療関係者（医師、薬剤師、看護師等）に対する研修・教育
- 高齢化とともに生活習慣病の増大が見込まれる諸外国（特にアジア諸国）に対し、**国循ブランドの医療機器や医療技術をパッケージで海外展開**
- **海外からの患者の受け入れと海外広報の強化**



理念3 オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）を形成する。

国循の周辺に企業・大学・他の研究機関等との共同研究拠点、健康関連産業、商業施設等を誘致

- 企業（製薬・医療機器メーカー、食品メーカー等）の研究施設、様々な大学の一部（医学部・理工学部・薬学部等）又は他の研究機関を誘致し、国循と共同研究を推進。
- クラスタ内に健康関連産業（下記4（5）参照）を誘致し、国循が専門的なアドバイスを与える等連携を図る。
- クラスタ内に国際交流拠点（セミナーハウス、ゲストハウス等）を設置し、頭脳交流による研究を推進。



新大阪駅に近接し、JR東海道線上の駅から直結しているという好立地条件を生かして、**国内外から多く人が集まるまちづくり**を行う。

- 国内外から「**医療・健康づくりのメッカ/フロントランナー**」と呼ばれるようなまちづくりを目指し、国内外に発信
- **医療・健康と結びついた魅力的な観光資源**（最先端医療・研究の見学コース設定、子供も含めた体験型施設、健康に良い食事、科学的根拠に基づく健康づくりの場等）を確立
- JR東海道沿線上に横に広がる建物群は乗客からもよく見え（visible）、**その魅力を生かした景観作り**。
- **アクセス改善**を図るため、JR岸辺駅での快速電車の停車を目指すとともに、周辺道路の整備等を推進



関西の経済活性化や地域雇用の創出にも貢献

- 医療クラスター形成会議を立ち上げ、地元経済界、アカデミア、行政等からの支援を促進
- 国家戦略特区や国際戦略総合特区の指定・編入を受け、税制上・予算上の優遇措置や規制の特例措置等を推進
- 循環器疾患分野に関する機能集積を目指す本地域と、他の関西地域との役割・機能分担を明確にしつつ、関西圏全体の医療産業集積の底上げ・ネットワーク強化を図る。
- 本地域に、住む人、働く人、訪れる人にとって最適な環境を創造

4. 国循周辺部に必要な機能等

(一部は移転後の国循に内包されるものも含まれる)



(1) 研究機能

他の大学・研究機関、企業との共同研究拠点等

(2) 事業化機能

先端医療創出センター（仮称）、事業化相談室等

(3) 情報集積機能

循環器病統合情報センター、データセンター等

(4) 教育研修・交流機能

トレーニングセンター、セミナーハウス、ゲストハウス、大学・養成校キャンパスの一部（医学部、理工学部、薬学部、臨床工学技士養成校等）、マルチメディアホール、循環器病に関する体験型ミュージアム・シアター等

4. 国循周辺部に必要な機能等（続）

（一部は移転後の国循に内包されるものも含まれる）



（5）予防医療・健康関連産業等

“かるしお”レストラン、フードデリバリーサービス、地域の食育拠点（特産物販売とクッキングスクール）、フィットネス・ダンススクール、スポーツ施設、人間ドック専用診療所、薬局、一般向けリハビリテーションセンター等

（6）商業/宿泊施設

ショッピングモール（健康づくりに意識の高い“健康サポーター店”の集積）、駅前健康チェックサービス（血糖値、疲労等）、宿泊施設

（7）住宅施設

職員宿舎、在宅訓練宿泊施設、退院患者の生体情報を把握できるインテリジェントハウス、在宅医療・診断が簡便・容易なスマートハウス、健康相談や健康セミナー等に利用できる住民ホール等

（8）その他

病気の子どもとその家族が利用できる滞在施設であるマクドナルド・ハウス等



国循を中心とした 医療クラスター形成

オープン・イノベーション &
健康・医療のまちづくり

国循を中心とする
医療イノベーション
拠点

- 駅前複合施設
(期待される機能)
- ・ショッピング・モール
 - ・宿泊施設
 - ・地域の食育拠点
 - ・かるしおレストラン
 - ・フィットネス・ダンススクール
 - ・人間ドック専用診療所
 - ・駅前健康チェック 等

国循
・病院
・研究所
・研究開発基盤センター

大学・養成校の
キャンパス (一部)
共同研究拠点

一般向けリ
ハビリテーションセ
ンター

ドナルド・
マクドナルドハウス

・医療機器
・医薬品メカ等
との共同研究拠点

4.5ha

ゲストハウス
セミナー
ハウス

在宅訓練宿泊
施設
インテリジェ
ント・ハウス

スマート・
ハウス
一般住居

3.0ha

国循職員
宿舎

吹田市民
病院

公園
緑地

2.6ha

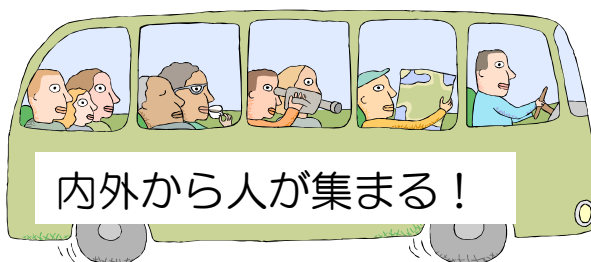
駅前広場

3.1ha

JR 岸辺駅

緑の遊歩道 (ウォーキングコース)

※ イメージ図
機能配置は具体的な位置
を示すものではない。



内外から人が集まる!